

科目名	授業形態	担当教員名	
総合作業療法学演習Ⅰ	講義	嘉納 綾・淡路 大致・岡田 誠暁 山本 翔太・井上 直樹・大永 寛	
時間数（単位数）	授業回数	年次	開講時期
90 時間 （ 3 単位）	45 回	3 年次	前期
授業の目的・概要			
臨床実習において作業療法の実践を行うためには、これまで学んできた基礎科目や専門科目の知識、技法を再度学び直し、整理・統合する必要がある。 本科目の目的は、対象者理解のための基本となる知識と、作業療法実践のための基本的な技能を習得することである。			
授業の到達目標			
1. 身障分野、精神分野における一般的な症例の病態を基礎科目や専門科目の知識を用いて説明できる。 2. 身障分野、精神分野における一般的な症例に対して、評価の進め方、目標設定、治療プログラムの立案に至るまでの過程を説明できる。 3. 身障分野、精神分野における一般的な症例（模擬患者）に対して、基本的な評価法、介入方法を実践できる。			
授業計画			
回	内容		
1	臨床実習対策①	31	生理学の知識と作業療法実践⑧
2	臨床実習対策②	32	運動学の知識と作業療法実践①
3	臨床実習対策③	33	運動学の知識と作業療法実践②
4	臨床実習対策④	34	運動学の知識と作業療法実践③
5	臨床実習対策⑤	35	運動学の知識と作業療法実践④
6	臨床実習対策⑥	36	運動学の知識と作業療法実践⑤
7	臨床実習対策⑦	37	運動学の知識と作業療法実践⑥
8	臨床実習対策⑧	38	運動学の知識と作業療法実践⑦
9	臨床実習対策⑨	39	運動学の知識と作業療法実践⑧
10	臨床実習対策⑩	40	身体障害分野の知識と作業療法実践①
11	臨床実習対策⑪	41	身体障害分野の知識と作業療法実践②
12	臨床実習対策⑫	42	身体障害分野の知識と作業療法実践③
13	臨床実習対策⑬	43	精神障害分野の知識と作業療法実践①
14	臨床実習対策⑭	44	精神障害分野の知識と作業療法実践②
15	臨床実習対策⑮	45	まとめ
16	解剖学の知識と作業療法実践①		
17	解剖学の知識と作業療法実践②		
18	解剖学の知識と作業療法実践③		
19	解剖学の知識と作業療法実践④		
20	解剖学の知識と作業療法実践⑤		
21	解剖学の知識と作業療法実践⑥		
22	解剖学の知識と作業療法実践⑦		
23	解剖学の知識と作業療法実践⑧		
24	生理学の知識と作業療法実践①		
25	生理学の知識と作業療法実践②		
26	生理学の知識と作業療法実践③		
27	生理学の知識と作業療法実践④		
28	生理学の知識と作業療法実践⑤		
29	生理学の知識と作業療法実践⑥		
30	生理学の知識と作業療法実践⑦		

科目名
総合作業療法学演習 I

成績の評価方法と基準		
種別	割合	評価基準・その他備考
筆記試験		
レポート・課題	50%	ポスター発表の内容と課題で評価する
小テスト	50%	解剖学・生理学・運動学の小テストの結果で評価する
平常点		
その他		
自由記載	再試験は解剖学・生理学・運動学の筆記試験を100%として成績判定する	
教科書		
書名	著者・編集者名	出版社名
なし		
自由記載		
参考文献		
書名	著者・編集者名	出版社名
自由記載		
備考		
授業計画は臨床実習の状況に影響される。変更があった場合にはその都度変更点を配布する。		